

平成30年産 紀南の中晩柑産地情報

2019/01/10

1. 果実の着果・生育状況

本年の中晩柑着果量は、品種・園地によりバラツキはあるものの、各品種とも平年並みとなっている。



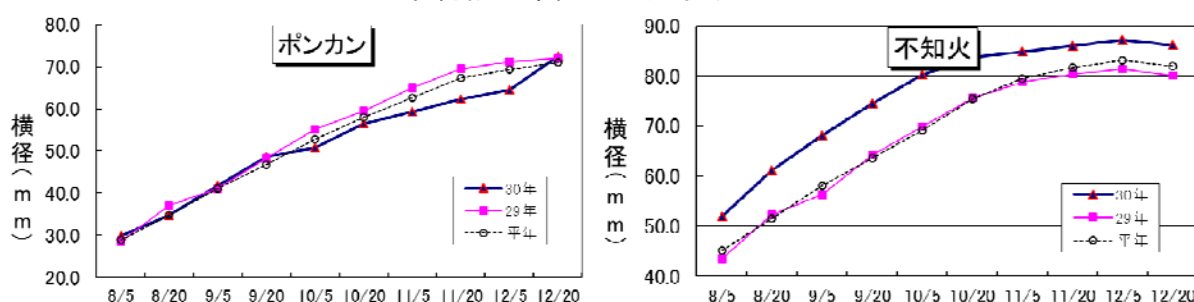
2. 果実の品質

1月8日時点の不知火の定点品質調査では、糖度13.1%、酸度1.37%となり、糖度は前年よりやや高く、酸度は前年並みとなっている。

12月20日時点の実肥りは、ポンカンが平年並み、不知火では平年よりやや大きくなっている。ただし品種や着果量によって若干のバラツキがある。

着色は各品種とも良好である。

中晩柑基準園の肥大状況



3. 収穫・販売予定

◎木熟ポンカン

1月に入り本格的に収穫が始まり、2月下旬まで販売予定。

◎八朔・紅八朔

1月に入り収穫を開始しており、販売は1月下旬までを予定している。
木熟八朔は3月上旬から販売予定。

◎不知火 (デコポン)

ハウス不知火 (デコポン) は1月下旬から2月上旬にかけて販売予定。
露地不知火 (デコポン) は2月中旬から3月中旬にかけて販売予定。

4. 管内生産予想量 (1月10日時点)

主要品種	面積 ha	生産予想量 t	生産量前年比%
ポンカン	33.6	348	112
八朔	23.9	417	105
不知火	30.9	346	104
清見	26.2	317	117
中晩柑合計	199.7	2,613	109

生産量は今後の気象等により変動することがある。